

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
日本語Ⅲ Japanese language Ⅲ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
陳順和	本館3F	木曜・金曜8:30~18:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
1. 中国人留学生を対象に日本語の基礎と応用を学習する。2. 漢字の読み方を体系的に学習する。3. 日本語の読解力を高めるために新聞記事を中国語に訳す。4. 正しい日本語の文章を書けるためにエッセーの美文を暗記する。5. 中級文法を体系的に復習する。6. 一年生より質の高い言語表現力を高め、更に多くの語彙と表現の習得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 専攻科目の授業をより聞き取れることができるようにする。 2. 専攻科目のテキストを読解することができるようにする。 3. レポートを自由に書けることができるようにする。 4. 日本語の新聞を読み取れ、自分の言葉で表現することができるようにする。 5. 日本語のニュースを聞き慣れることができるようにする。				
授業の方法				
1. 中学1年～3年の漢字ドリルで読み方を練習する。 2. 新聞記事(ふりがなのつく文章も含む)を中国語に訳し、日本語の読解力を確める。 3. エッセーの美文(ふりがなつき)を暗記し、正しい日本語の書き方を勉強する。 4. 「標準日本語下」(光村図書・人民教育出版社編)で日本語文法を復習する。				
学習の成果				
この授業を終了すると、あなたは 1. 就職活動の面接に対応できる言語能力を身につけることができる。 2. 専攻科目の授業とレポートに困らないような言語能力を身につけることができる。 3. 中学三年生までの漢字読みのレベルに達することができる。 4. 日本語能力試験1級合格することができる。 5. 日本語のドラマ・ニュースを楽しく聞くことができ、日本での社会生活に支障がない日本語表現力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	1 春期の授業計画を説明する 第1課 火山と温泉 新聞記事を中国語に訳す1	エッセー 生命への畏れ 漢字の読み方(中一)		
第2回目	2 第2課 贈り物 新聞記事を中国語に訳す2	エッセー 好きだから 漢字の読み方(中一)		
第3回目	3 第3課 おいしい生活 新聞記事を中国語に訳す3	エッセー 名刺の重さ 漢字の読み方(中一)		
第4回目	4 第4課 鶴の恩返し 新聞記事を中国語に訳す4	エッセー 夢の舞台 漢字の読み方(中一)		
第5回目	5 第5課 大陸は動く 新聞記事を中国語に訳す5	エッセー 真剣勝負 漢字の読み方(中二)	(中間テスト)	
第6回目	6 第6課 植物のにおい 新聞記事を中国語に訳す6	エッセー 朝起きの決心 漢字の読み方(中二)		

第7回目	7 第7課 腕時計 新聞記事を中国語に訳す7	エッセー 未来を創る 漢字の読み方(中二)		
第8回目	8 都市の住宅事情 新聞記事を中国語に訳す8	エッセー 立つより返事 漢字の読み方(中二)		
第9回目	9 第9課 日本人と魚 新聞記事を中国語に訳す9	エッセー 経済は継栄 漢字の読み方(中三)		
第10回目	10 第10課 山国の春・北国の春 新聞記事を中国語に訳す10	エッセー 和やかな食卓 漢字の読み方(中三)	(中間テスト)	
第11回目	11 第11課 ツバメ 新聞記事を中国語に訳す11	エッセー 江戸商人の哲学 漢字の読み方(中三)		
第12回目	12 第12課 日本人と仕事 新聞記事を中国語に訳す12	エッセー 龍馬と和歌 漢字の読み方(中三)		
第13回目	13 第13課 小さな出来事 新聞記事を中国語に訳す13	エッセー 石の上にも三年 漢字の読み方(中三)		
第14回目	14 第14課 日本語と国際交流 新聞記事を中国語に訳す14	エッセー 日本人の心の歌 漢字の読み方(中三)		
第15回目	15 春期授業の総括と定期試験			
成績評価の方法と基準				
評価の領域		割合	評価の基準	
授業参加態度		20%	積極的に授業を受ける。宿題をきちんとやる。	
レポート				
調査報告書				
小テスト				
中間・学期末試験		80%	教えた分をテストする。合格点数は60点。	
発表内容(態度含む)				
その他			日本語能力試験1級の合格者に加点する。	
教科書と参考図書				
プリントを使用する。				
履修上の心得・ルール				
欠席・遅刻をしないこと、授業中の居眠りなどがないこと。				